

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	生協の運営になるだけに、地域に溶け込んだ活動が目につく。地域の商店とも馴染みの関係を構築し、保育園や小学校とも交流がある。利用者の居室には、保育園児との交流を示す写真や作品が数多く飾られている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は、規定通り2ヶ月に1回開催されている。行政を代表して、地域包括支援センターの職員が参加している。議事録が詳細に取られており、密度の濃い会議風景が想像できる。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	各種の届けを提出する折に、区の担当職員と顔を合わせる程度であるが、地域包括支援センターの職員を通じてホームの情報は届いている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	専門医を講師とした家族向けの勉強会が定期的で開催されており、毎回約半数の家族の参加がある。その折にも家族からの意見や要望を聞いており、良好な関係が構築されている。家族アンケートの回答率もよく、満足度の高い評価ではあったが、自由記述の少なさが気になる。「全てホームにお任せ」とならないよう、注意は必要であろう。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

規定通りの運営推進会議が開催されており、家族の協力体制も確認することができた。家族を対象とした勉強会が、地域の住民にまで拡大することを望みたい。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。